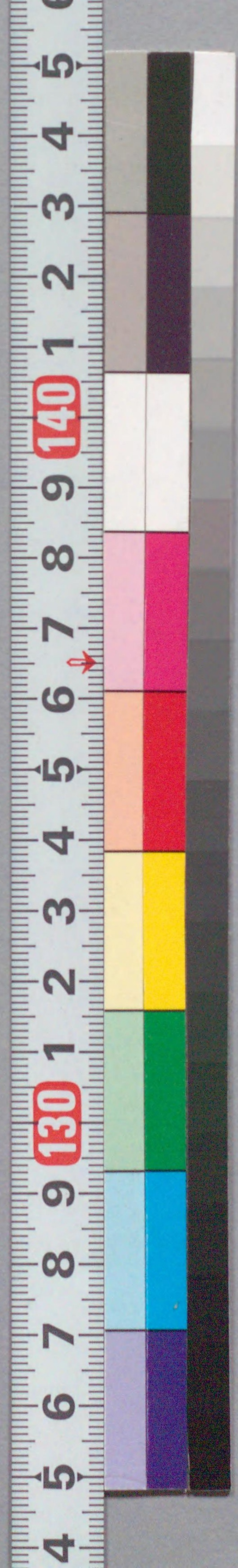


代夜待白女辻占

曲亭馬琴

207
1000

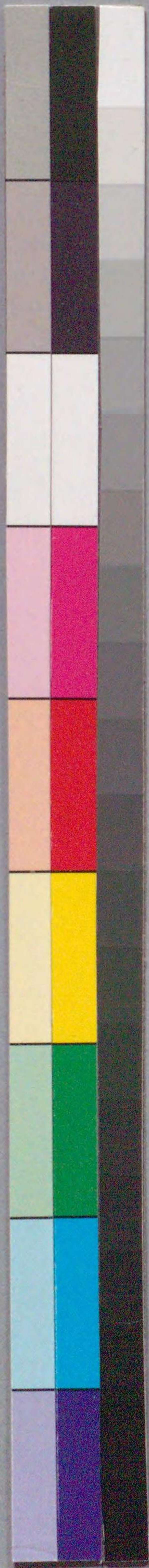


国立国会図書館 代夜待白女辻占 6巻 207-1000

ガラス使用

代夜待白女

如あるは



曲亭馬琴著

全本六弓合卷三冊

戲謔たがひまれどもはな虐はなゆるこらねた勸善くわんぜん懲惡ちやうあく能た捷徑ちやうてい

だれ や まらあめめいつちうらまうさう

代夜待白女辻占上冊

數金かずかね空くう玉たままれどもあ有あふあ似にころん今昔こんせき死し比ひ乃の怪譚かいだん

歌川國貞画

書林西村永壽堂梓



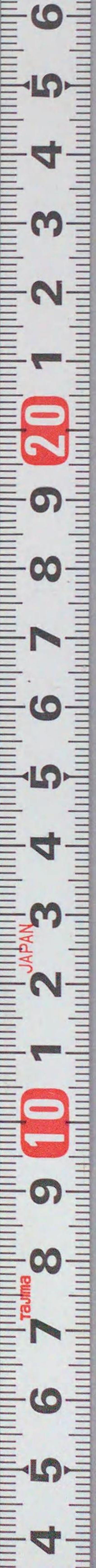
壹

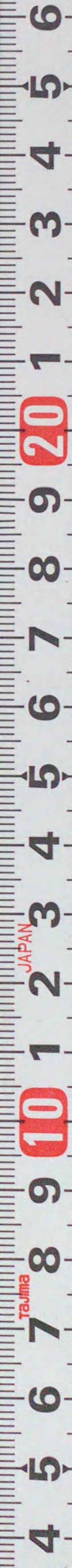
入い字じの生来せいらいあり命めい位ゐの東西とうせいあり吉宗きちそう儘まれ分ぶん道みち重ちゆうふ足あし
 衆しゆ人にんををくくいいままとと知ちるる命めい吉きち三さん六ろく愚福ぐふくめめのの春はる意い壽じゆうるるああままのの命めい
 夢ゆめ始はじめ醉まよひひ終しまりり役やく々々とと煩悩ぼんなうままののああのの入いれれをを曉さとすす人にんのの一いつ期きをを夢ゆめ
 譬たとへへ枕中まくらなかつ記きのの二に篇へんあり又また槐安けいあんのの一いつ紀き事ことあり窮きゆう達たつ榮えい枯こ得とく失しつのの理りとと説せつ
 この精妙せいめうなれども讀よみみぬぬととちちのの蝴蝶こてつもも華はな昏こんのの辻つじ遠とほとと一いつ足あし飛とびび推おしし
 したるしたる這冊このこの子のこの正月しょうげつ二に日にちのの初夢はつゆめもも大晦日おほみそひ小假寐せうかみのの久ひさ松まつをを夢ゆめみみたた
 見みせせばば作意さくいのの魂膽こんたんとと邯鄲かんたんのの悟道ごどう捷徑ちやうていをを野暮やまのの筋すぢ筋すぢ
 趣向しゆかうのの波なみ婆羅ばら羅ら底てい演えんううるる夢ゆめをを吹ふくくとと御託ごたつをを澤さわ模も枕まくらにに底てい
 才さい笑わらひひ宝船ほうせんををるるれれどもども春はるのの睡ねのの目覚めざましし今いま茲こゝももああららまま戲あそべべてて序しよ

文政十三年庚寅春正月吉日新版

曲亭馬琴識

代夜待





別
難
夢
同
同

黒暗国の
黒暗女



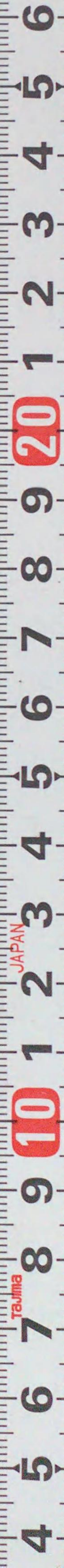
夜
あけ
食
使
夢
使
使

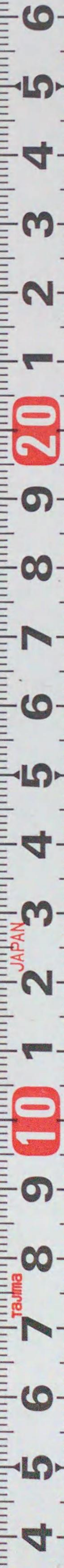
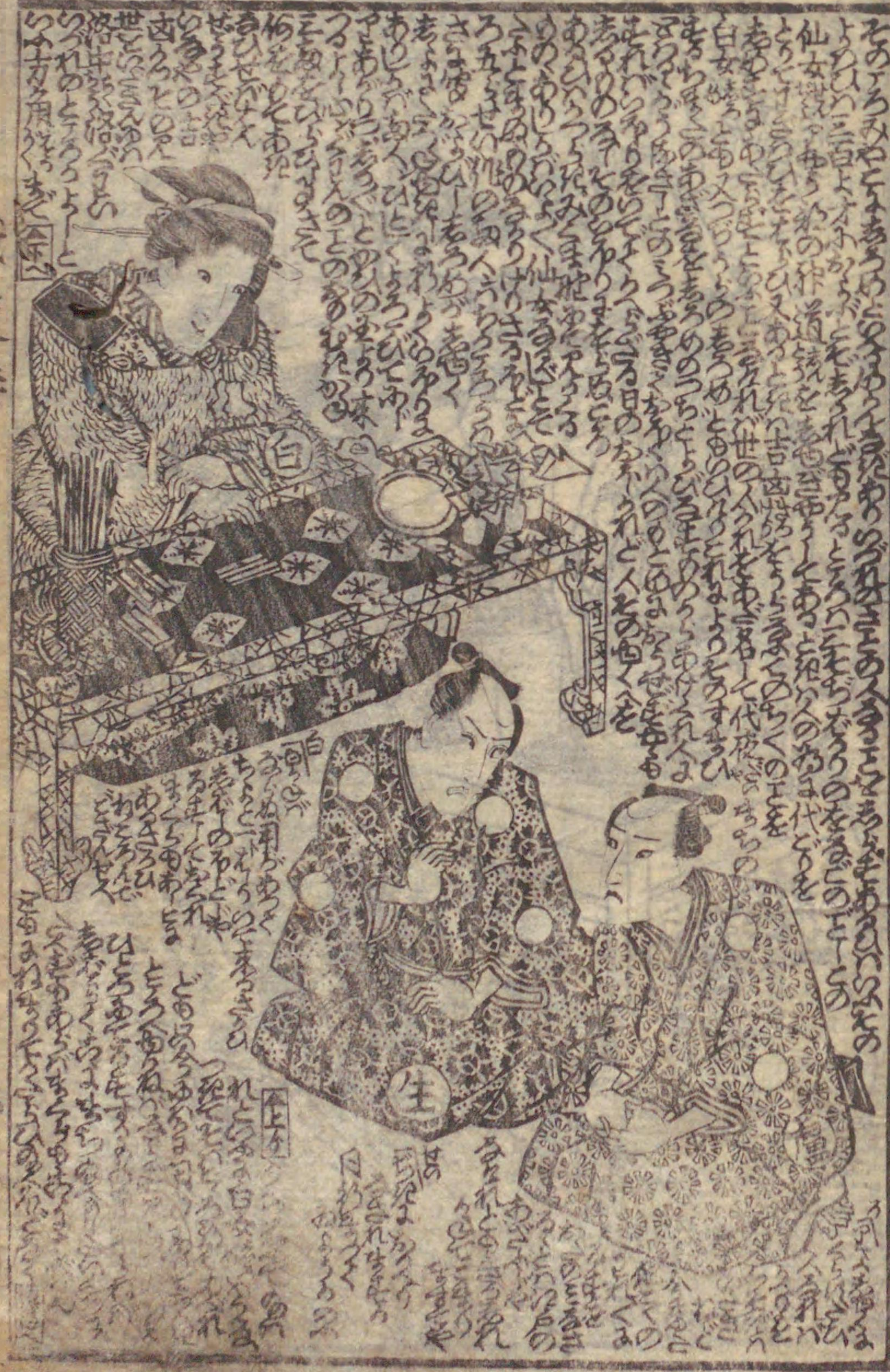
耶田屋
盧五郎



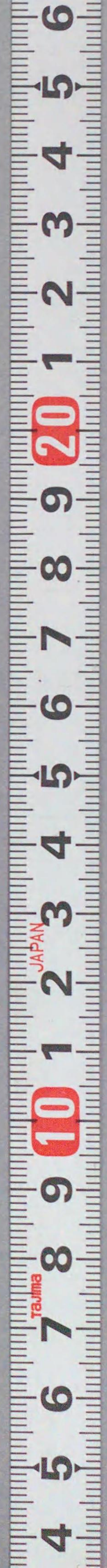
費長山の
栗飯姫

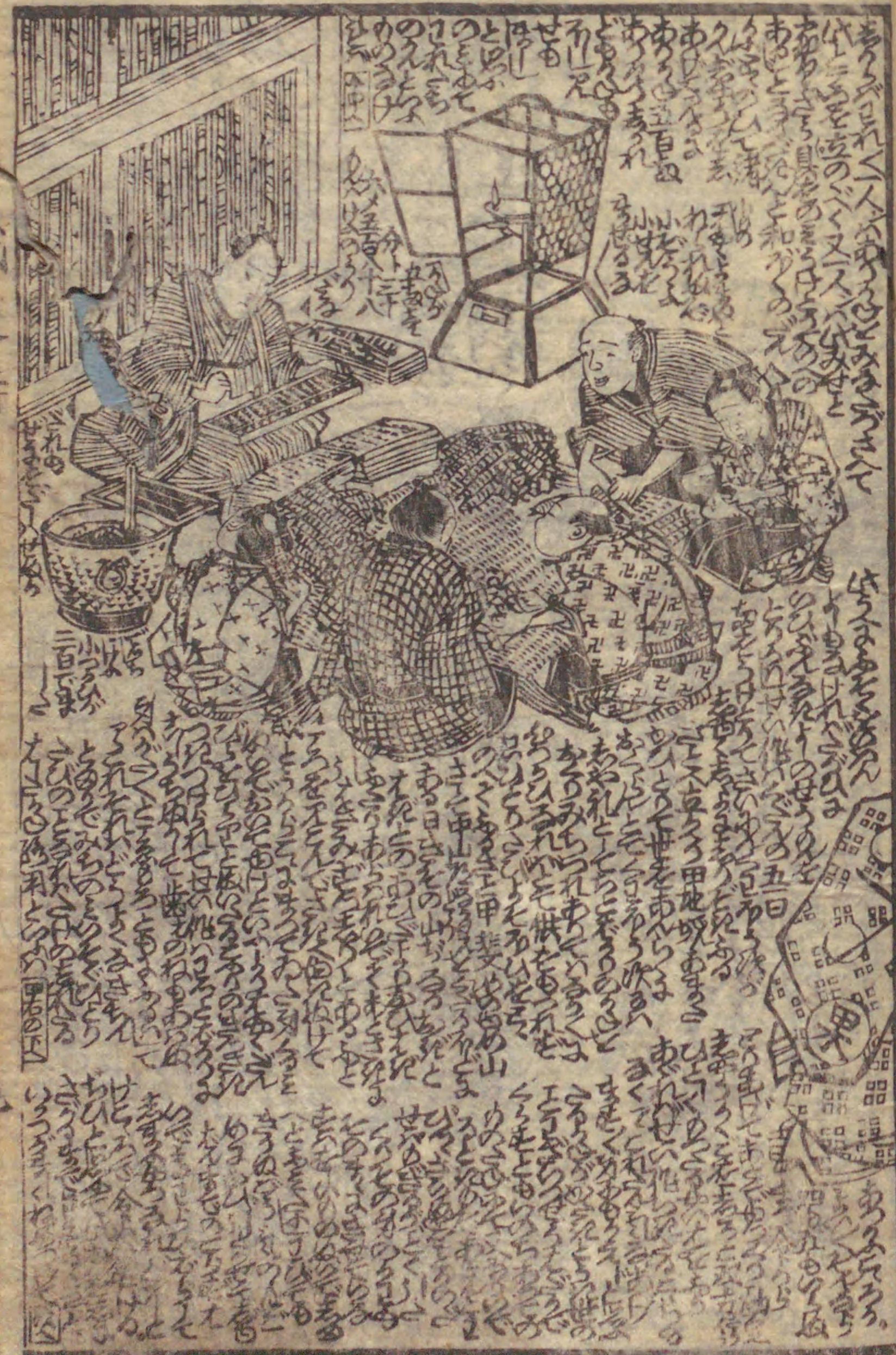


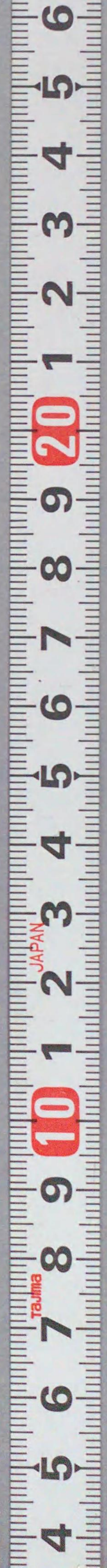














抄定寄 輝ゆて出来たり

手紙之文言 蓮池堂文盟堂全書 後集 金一冊

筆書如草より家々の巻味に全標同と揚半巻宛の仕立等に及ぶ坊々素敷
 ろう障紙刺しに筆を秋果を毛筆生原書乃経好廣の長巻を亦と雖も
 を多き如に三三刺し金重入漸たのて作ぬ月接く馬に二春を種より
 今に到て刻金成り別巻生た藝本一人う虎に数取す同く此所成
 書く海内の特長書なる由こそ 書林 永壽堂 次白





江戸馬喰町
白女辻占
板

国立国会図書館 代夜待白女辻占 6巻 207-1000

ガラス使用





歌川國貞画

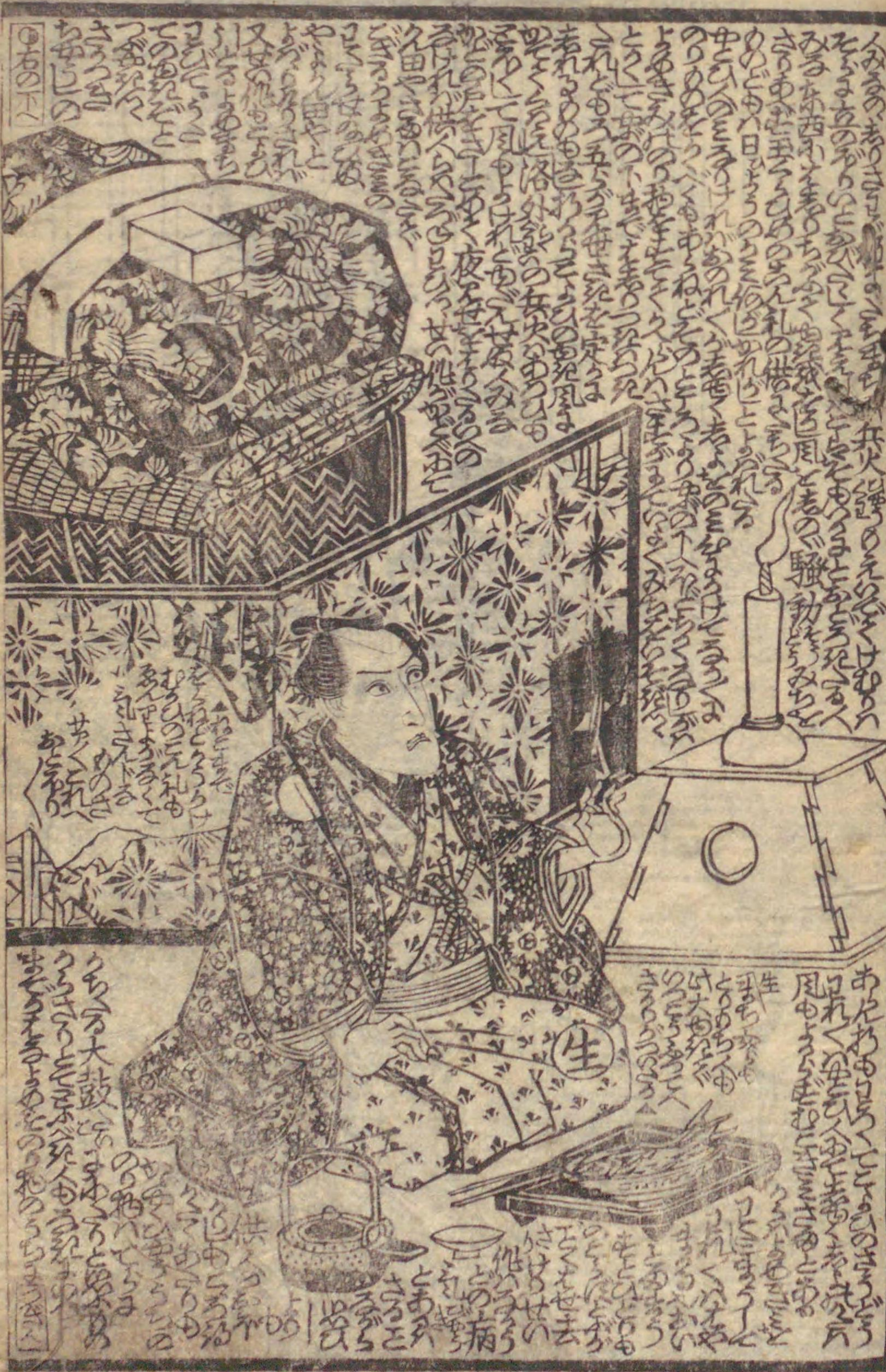
代夜待
白女辻
占中冊

曲亭馬琴著

邯鄲五十年
之夢寐判夏
魂膽三拾頁
之新奇趣向

文政十三年庚寅孟春
永壽堂西村屋與八版

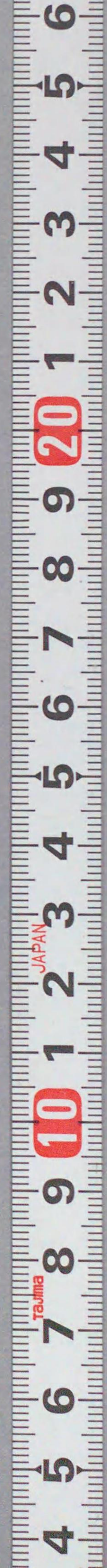




七夜待



十夜待





代夜待

代夜待







四

Handwritten text in vertical columns, likely a commentary or a list of names, surrounding the illustration. The text is written in a cursive style.



馬琴作

Handwritten text in vertical columns, likely a commentary or a list of names, surrounding the illustration. The text is written in a cursive style.

代夜待

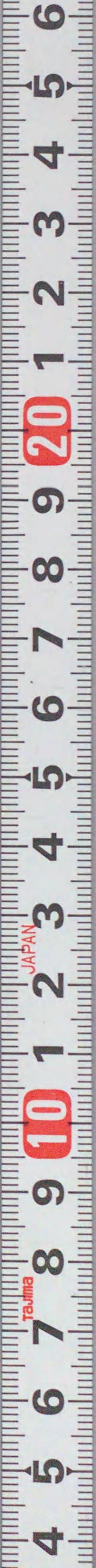




大寺



十夜





国立国会図書館 代夜待白女辻占 6巻 207-1000



ガラス使用





七
時

不
行





漢楚賽擬選軍談第三編

曲馬法丁作
初篇二篇 五卷
歌川國安画

國字水滸傳八編

柳亭種彦譯
歌川國芳画

むしと歌業及物語

柳亭種彦作
歌川國丸画

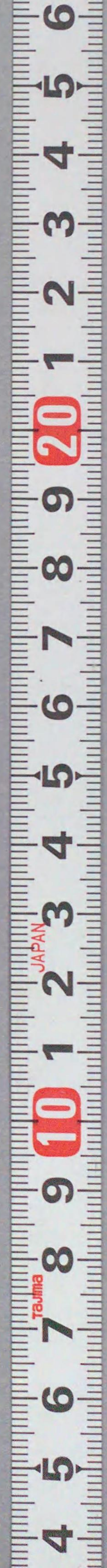
擬本記演義三國志

曲亭馬琴作
每編合本四冊

正本製衣十二編

柳亭種彦作
五渡亭國貞画

東都馬喰町貳丁目 永壽堂西村屋與八板







五

馬琴他
玉貞画

江戸馬喰町二町目角
書林兼地本錦繪問丸
永壽堂西村屋與八梓

女
占
下
冊

白



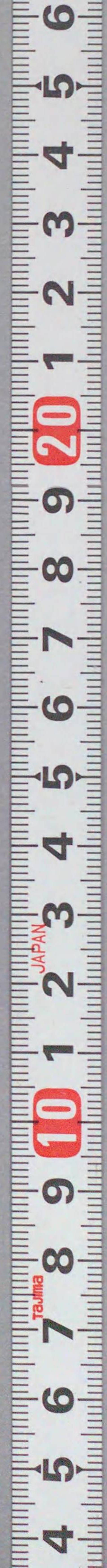


五
十

七

十
石
行

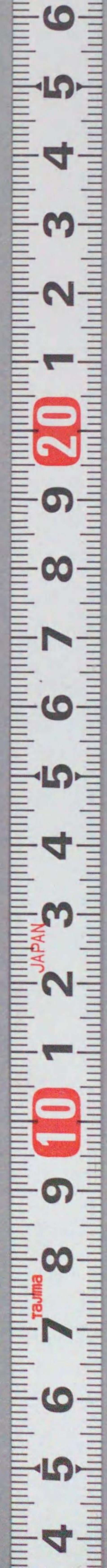
十一



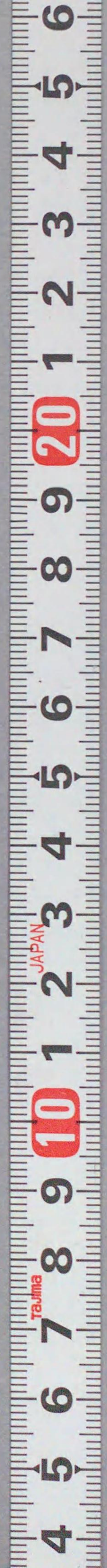
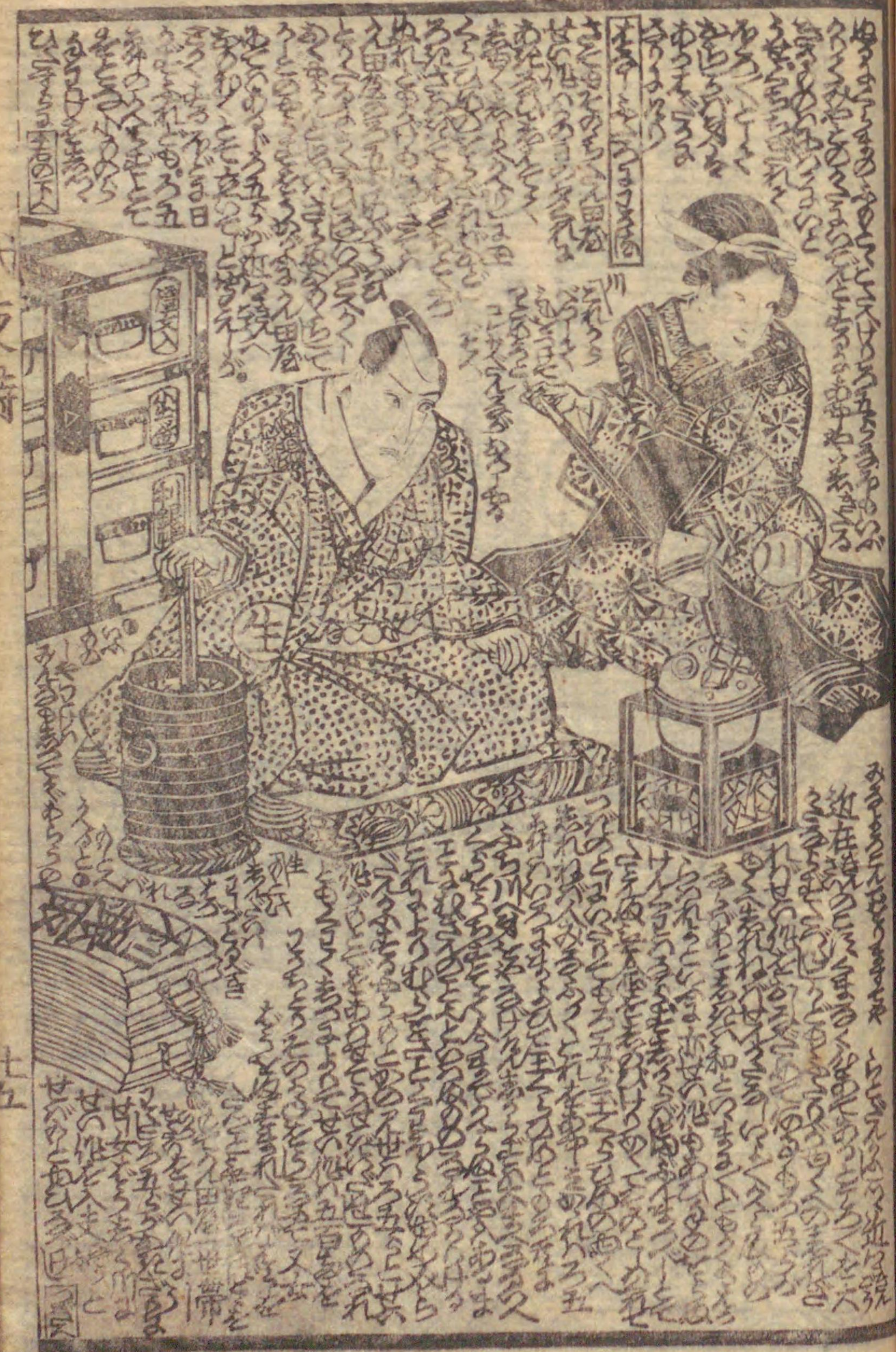


代夜待

七







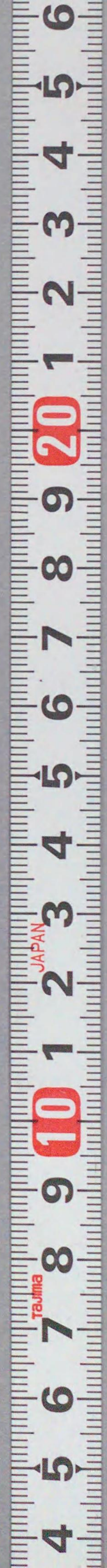


七夜寺

Vertical columns of handwritten Japanese text.

Vertical columns of handwritten Japanese text.

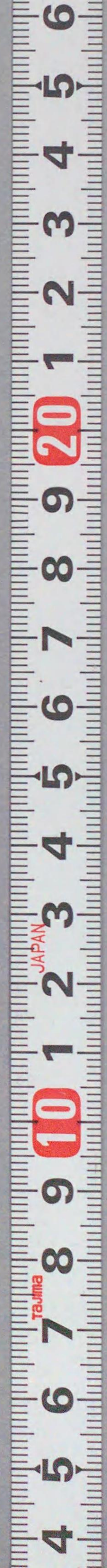




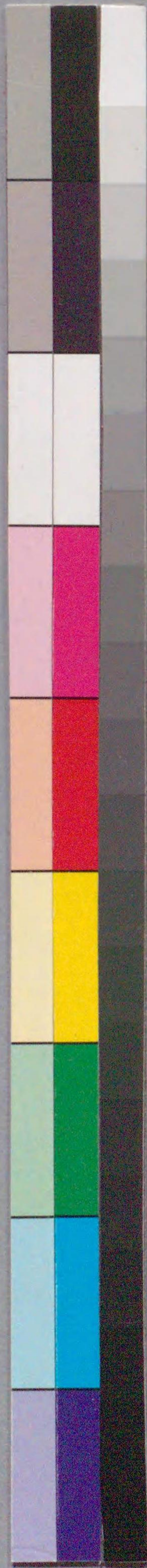


七
夜
待

七
夜
待

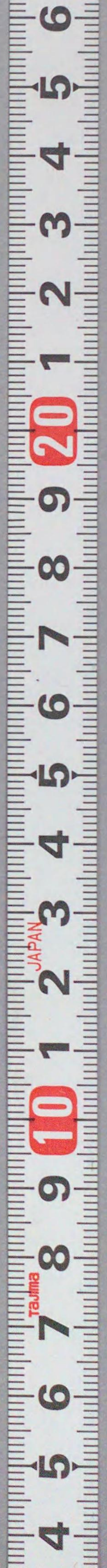






仁夜待

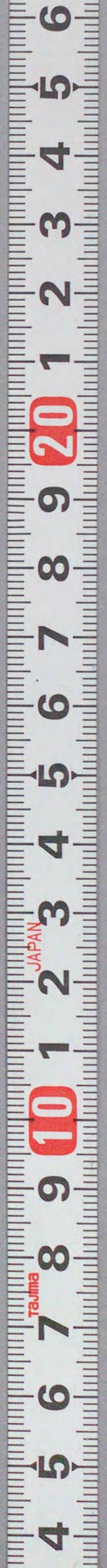
仁夜待集 全六





茶屋集

代夜待



4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6

不夜作

此の書は... 山の上の... 鬼の... 夜... 根本...
 弘前 弘前市中坂下四方を店向は沢氏
 取次所 西園様上町三丁目 大坂松屋色
 能胆... 婦人... 製茶... 同朋町東横丁本家龍沢氏
 江戸神田神下
 盧



○書林永壽堂新刻目錄

前此齋為元正画 自正月至四月

倫日

集全





蘇江御
 新集 全六冊
 代夜待白女辻占 6巻 207-1000

書林不盡堂條目録

前山齋 自五月至四月

代夜待





十政文

代夜待白女辻占 全六冊

著聞集

全六冊

曲亭馬琴作
歌川國貞画

蘭玉屑

陽春を巻き異色に紅い花をまきと云はれ痛狗にまきまはさ目切又
ゆまの屑のいふは毒塗る方麻まぬのはさるこいん松葉の研みうしを好
功のうまじとる暇やものいふるは
元弘店西村屋
以本の板元西村屋
入黒屋長右衛門

Handwritten text in vertical columns surrounding the illustration.



代夜待





代夜待白女辻占 6卷 207-1000

文苑十

不夜作

盧

曲直

又

本

夜

占

辻

白

女

待

夜

代



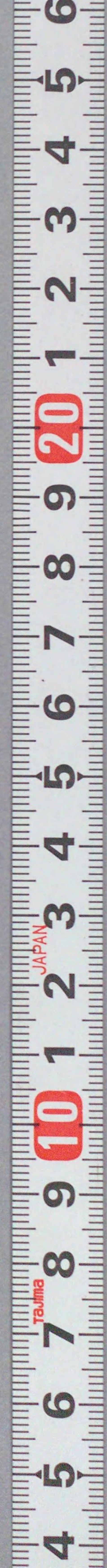
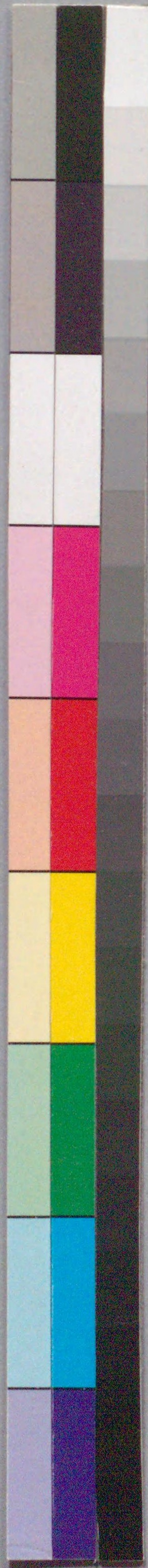
207
1000

Handwritten text in a damaged section of the book's cover, likely bleed-through from the reverse side.

国立国会図書館 代夜待白女辻占 6巻 207-1000

ガラス使用





国立国会図書館 代夜待白女占 6巻 207-1000

ガラス使用